

## ボクシング元世界チャンピオン高山勝成さんによる 指導や講義を受けた学生の感想

### ■永倉 諒さん（経営法学部1年生、ボクシング部所属）

今回は4団体世界チャンピオンの高山勝成選手に来てもらい、講義の講師と、練習を見てもらいました。講義では、学生からの質問に対して、高山選手の体験談やボクシングをしていない人達に対してもわかりやすく答えていただきました。世界チャンピオンに会うのでとても緊張していたのですが、会ってみたら強いオーラも出ていて、初対面の自分にも気軽に話しかけてくださり、そのような面でもチャンピオンだなと思いました。

練習ではプロの練習の仕方や考え方、イメージなど基本の練習を深く教えていただき、とても充実した濃い時間を過ごせました。

### ■小鹿 研太朗さん（経営法学部3年生）

今回、高山さんのお話を聞き世界を取った人の考え方を知ることができました。高山さんは、結果とプロセスを常に考えて行動すると話されていました。その緻密な計画が、高山さんが世界を取ることに事が出来たメソッドなのだを知ることができました。また、高山さんは初めて試合で敗退した時、腐らずに自分のことを見つめ直し、行動できる、そういった点を見習いたいと思いました。

### ■船水 滉太さん（経営法学部3年生）

「失敗は成功のもと」という言葉がありますが、高山さんはまさにその言葉を体現されていると感じました。初のチャンピオン防衛戦において負け、そこから反省をし、なぜ負けたのかを分析し、次の試合に活かす、そして、チャンピオンに返り咲くという結果に結びつけていました。高山さんのプロボクサーとしての凄さを感じました。とても貴重なお話を聴けました。

### ■小寺 奏さん（経営法学部3年生、柔道部所属）

今回高山選手のお話を通じて、普段知ることが出来ないプロアスリートの試合に対する心構えや、スポーツとの向き合い方などを学ぶことが出来ました。

私が高山選手のお話を聞いた中で一番印象に残っているのは、常に万全の準備をして試合に臨んでいるという事です。試合が決まってから当日までの緻密な練習メニューや、ダウンさせられた時、血で視界が悪くなった時の対処法など、そういった準備の積み重ねが高山選手の精神的、肉体的な強さの秘訣であると感じました。

この考え方はスポーツだけでなく、勉強や就活にも必要であると考えます。勉強で言えば毎日の予習復習、就活なら資格取得などです。私は現在就活生で、もうすぐ本選考が始まりますが、高山選手のように万全な準備をして挑みたいと思います。